

しまね教育振興ビジョン

今後の本県教育の方向性を示して、
学校・家庭・地域・行政が連携し、
県民が一体となって本県の教育を
進めていくために策定しました。

【計画期間】
令和7年度から
令和11年度までの5年間



詳しくは
こちら

すべての子どもが
学びの主人公
〔一人ひとりを尊重する学校〕

基本 目標

実体験に根ざした
本物の教育
〔地域とともにある学校〕

挑戦心、
探究心が育つ
学びの環境
〔子どもも大人も学び成長する学校〕

島根県の教員に求められる 資質・能力



詳しくは
こちら

1.

豊かな人間性と
職務に対する使命感

- ①人間理解・人権意識
- ②職務に対する誇りと責任
- ③ふるさとを愛する心

2.

子どもの発達の
支援に対する
理解と対応

- ④生徒指導の推進
- ⑤特別支援教育の推進

3.

職務にかかわる
専門的知識・技能
及び態度

- ⑥教科等の指導に関する専門性
- ⑦ICTや情報の利活用
- ⑧社会の変化への対応

4.

学校組織の一員
として考え行動する
意欲・能力

- ⑨学校組織マネジメント
- ⑩他者との連携・協働

5.

よりよい社会を
つくるための
意欲・能力

- ⑪地域資源の活用と地域貢献
- ⑫合意形成に向けた議論の調整・促進

お問い合わせ先

島根県教育庁学校企画課 人材育成スタッフ

〒690-8502 島根県松江市殿町1番地
TEL.0852-60-0766/090-5700-7953

しまねの先生ナビ
公式LINEアカウント
でも情報発信中!!



登録はこちらから

しまねで
先生になる
未来を描こう

令和9年度採用

島根県 公立学校 教員募集

誰もが、誰かの、
たからもの。

島根県教育委員会

しまねの先生ナビ 検索 CHECK ▶▶
<https://www.shimane-kyoinsaiyo.com/>

令和9年度(令和8年度実施)教員採用試験の概要



しまねの
先生ナビは
こちら

特別選考試験

下記のいずれかの要件を満たす方

要件

① 島根県外の国公立私立学校で正規採用の教員として3年以上勤務していること（現職）

② 過去10年以内に、島根県内外の国公立私立学校で正規の教員として3年以上の勤務経験があること（過去正規）

内容

面接試験（40分程度×2回）

会場

松江

日程

出願受付：令和8年2月14日（土）～3月23日（月）

試験日：令和8年5月3日（日・祝）

合格発表：令和8年5月27日（水）

一般選考試験

1次試験

試験内容

教職教養試験（20分）、専門教養試験（60分）、論述試験（40分）

試験日程

出願受付：令和8年2月14日（土）～3月23日（月）

試験日：令和8年5月9日（土）

合格発表：令和8年5月27日（水）

会場

松江・大阪・東京・福岡

2次試験

試験内容

面接試験（30分程度×2回）、実技試験（美術、音楽受験者）

試験日程

試験日：令和8年6月21日（日）～7月7日（火）

追試験：令和8年7月18日（土）

合格発表：令和8年8月5日（水）

会場

松江・大阪・東京

※実技試験は、松江のみ
※県外会場（東京・大阪）は、小学校・特別支援学校受験者のみ

- 試験の特徴
- 1次試験の免除及び加点の特例
教員の勤務経験（講師含む）や前年度の試験結果等により免除や加点の特例があります。
 - 併願制度
第2志望の校種・教科の教員免許状がある場合、併願ができます。
 - 社会人を対象とした選考
実務経験があれば教員免許がなくても受験できます。
対象：【中学校】英語、美術、技術、家庭
【高等学校】情報、農業（園芸・土木・食品）、工業（電気・機械）、商業、水産（漁業・機関・栽培・製造）
- ※試験区分や募集校種など試験の詳細は、実施要項をご確認ください。

令和6～8年度 島根県公立学校教員採用候補者選考試験の結果

		令和6年度 (令和5年度実施)			令和7年度 (令和6年度実施)			令和8年度 (令和7年度実施)			
		受験者	名簿登載者数	倍率	受験者	名簿登載者数	倍率	受験者	名簿登載者数	倍率	
校種・教科等		(A)	(B)	(A) ÷ (B)	(A)	(B)	(A) ÷ (B)	(A)	(B)	(A) ÷ (B)	
一般選考試験	小学校	282	179	1.6	263	158	1.7	309	206	1.5	
		特別支援教育担当	8	3	2.7	7	4	1.8	4	1	4.0
		計	290	182	1.6	270	162	1.7	313	207	1.5
	中学校	国語	37	17	2.2	23	10	2.3	46	20	2.3
		社会	50	19	2.6	60	20	3.0	66	21	3.1
		数学	56	23	2.4	34	11	3.1	32	18	1.8
		理科	18	8	2.3	18	8	2.3	26	12	2.2
		英語	25	9	2.8	34	18	1.9	39	19	2.1
		音楽	11	5	2.2	19	8	2.4	12	6	2.0
		美術	3	2	1.5	3	2	1.5	2	2	1.0
		保健体育	47	11	4.3	50	15	3.3	53	11	4.8
		家庭	6	4	1.5	5	4	1.3	6	4	1.5
		技術	1	0	—	2	0	—	2	1	2.0
		特別支援教育担当	5	2	2.5	7	2	3.5	7	3	2.3
		計	259	100	2.6	255	98	2.6	291	117	2.5
	高等学校	国語	27	4	6.8	20	4	5.0	23	3	7.7
		地理歴史及び公民	41	3	13.7	48	5	9.6	42	6	7.0
		数学	45	3	15.0	46	5	9.2	48	6	8.0
		物理	8	1	8.0	9	1	9.0	8	1	8.0
		化学	13	1	13.0	13	2	6.5	10	1	10.0
		生物	5	1	5.0	11	2	5.5	7	2	3.5
		英語	24	2	12.0	20	4	5.0	19	2	9.5
		音楽	7	1	7.0	5	1	5.0	7	1	7.0
		美術	4	1	4.0	3	1	3.0	4	1	4.0
		書道	3	1	3.0	—	—	—	—	—	—
		保健体育	57	4	14.3	52	3	17.3	53	1	53.0
		特別体育専任	3	1	3.0	—	—	—	1	1	1.0
		家庭	4	1	4.0	2	1	2.0	5	1	5.0
		情報	9	2	4.5	14	1	14.0	7	1	7.0
		園芸	—	—	—	6	1	6.0	5	1	5.0
		土木	7	1	7.0	—	—	—	3	1	3.0
		畜産	2	1	2.0	—	—	—	—	—	—
		食品	2	1	2.0	3	1	3.0	2	1	2.0
		電気	5	1	5.0	1	0	—	1	1	1.0
		機械	3	1	3.0	4	2	2.0	2	2	1.0
		建築	1	0	—	—	—	—	—	—	—
		商業	12	2	6.0	8	2	4.0	12	2	6.0
		漁業	2	1	2.0	1	1	1.0	1	1	1.0
		機関	1	1	1.0	0	0	—	0	0	—
		製造	4	1	4.0	—	—	—	1	1	1.0
		栽培	4	1	4.0	—	—	—	—	—	—
		計	293	37	7.9	266	37	7.2	261	37	7.1
特別支援学校		42	22	1.9	48	27	1.8	42	26	1.6	
養護教諭		98	10	9.8	97	14	6.9	131	9	14.6	
栄養教諭	20	1	20.2	23	1	23.0	28	1	28.0		
合計	1002	352	2.8	959	339	2.8	1,066	397	2.7		
国スポ競技力向上枠	—	—	—	0	0	—	4	3	1.3		
トップアスリート特別枠	—	—	—	—	—	—	0	0	—		
特別選考試験	小学校教諭	14	9	—	13	10	—	10	9	—	
	中学校教諭	8	4	—	12	6	—	14	6	—	
	高等学校教諭	1	1	—	5	4	—	20	12	—	
	特別支援学校教諭	3	3	—	2	2	—	2	2	—	
	合計	26	17	—	32	22	—	46	29	—	

令和7年度新規採用者インタビュー



INTERVIEW
01

出雲市立今市小学校
教諭 重親 直哉先生

成長に寄り添える喜び

教員になってよかったと感じる瞬間は、子どもが
できなかったことをできるようになった時です。
学習面に限らず、運動や生活の中での成長にも
立ち会えるのは、教員ならではの魅力だと思い
ます。思うようにいかない日々があるからこそ、
できた時の喜びはひとしおで、心の底から
嬉しくなり、教師としてのやりがいを実感します。
また、子ども一人ひとりに個性があり、「この子
はこんなことができるんだ」「こんな考え方を
するんだ」といった新たな発見に出会える
のも、子どもと向き合う魅力のひとつです。



学び続ける姿勢

私が教員として心がけているのは、先輩の先生
方から学ぶことです。小学2年生の担任をして
いますが、自分の授業がない時間には他の
クラスを見学し、授業の進め方や子どもとの
関わり方、教室環境など、多くのことを吸収する
よう努めています。見学後、放課後に先生方へ
質問や感想を伝え、さらに理解を深めています。
こうした学びは自分の授業づくりや子どもとの
関わりに生かすことができ、自分の引き出しを
増やす貴重な機会です。また、コミュニケー
ションも大切にしており、学年内の情報共有は
もちろん、日常のちょっとした出来事も他の
先生方と積極的に話すように心がけています。



4



INTERVIEW
02

松江市立第一中学校
教諭 上田 美和先生

未来を切り拓くために

私の原点は、松江市にある白潟小学校での
日々にあります。恩師や友人に恵まれ、美しい
宍道湖に見守られながら登下校したあの時間
が、今の私の土台となっています。自然や人の
温かさに満ちた島根が大好きで、この地で育つ
子どもたちの成長に少しでも貢献したいという
思いから、島根で教員になることを志しました。



その決意の背景には、国内外での経験、とりわけ
海外での学びがあります。大学卒業後は東京
で就職し、その後島根にUターン。イギリスへの
留学を経て、JICA青年海外協力隊としてカンボ
ジアで教育支援に携わり、さらにキルギスの
JICA事務所でボランティア調整員として活動
しました。海外での生活は通算10年に及びます。
特に心を動かされたのは、電気のない村でろう
そくの灯りを頼りに学び、大学に進学して教員
となり、次世代のカンボジアの子どもたちの
ために情熱を注ぐ若者たちの姿でした。その
生き方からは、どんな状況でも夢を諦めず、
未来を自ら切り拓こうとする強い意志を学び
ました。島根の子どもたちにも、自分の可能性
を信じ、他者と協力しながら課題に立ち向かう
力を育ててほしいと思います。そのために、私
自身も日々学びを重ね、できることを実践して
いきたいと考えています。



INTERVIEW
03

松江南高等学校
教諭 松平 紅里先生

生徒との関わりの中かで

国語教員のおもしろさは、定番の教材に加え、
新しい作品や文章が次々と登場することで、
常に新鮮な学びと出会う点にあります。私自身
も新たな文章に触れるたびに、新しい発見や
視点を得て、多くの刺激を受けています。そして
何よりこの仕事の魅力は、生徒たちとの関わり
にあります。気軽に話しかけてくれたり、困った
時に頼ってくれる生徒がいると、教員としての
喜びを強く感じます。また、生徒たちが何事にも
一生懸命取り組む姿を見るたび、私も負けず
に頑張ろうと励まされます。成長を間近で
見守り、共に活動できることが、この仕事の
醍醐味だと日々実感しています。



合格体験記

1次試験対策では、過去問を年度ごとに3回
以上繰り返し解き、出題傾向をしっかり把握
することに努めました。過去問を解くことで、
問題の形式や頻出テーマを理解でき、自信を
持って臨むことができました。2次試験対策
では、教員志望の仲間だけでなく、一般企業の
面接経験者とも練習を重ね、多様な視点から
アドバイスを受けることができました。面接
では、どのような質問にも自分の「核」がぶれ
ないよう、徹底的に自己分析を行い、考えを
固めておくことが重要です。その結果、質問に
対して一貫して答えることができ、自分の伝え
たいことを明確に表現することができました。



INTERVIEW
04

益田養護学校
教諭 高見 健太郎先生

教員と特別支援教育への思い

地元・島根で幼いころから好きだった運動に
関わる仕事をしたいと考えてきました。教員を
目指すきっかけは、学校という環境が子ども
たちに運動を親しませる場として最適だと
感じたからです。体育の授業や部活動、運動会・
体育祭など、学校ではさまざまな形で運動や
スポーツに触れる機会があります。そこで、
子どもたちが「する」「みる」「支える」「知る」と
いった多様な関わり方を通じて、運動の楽しさ
や魅力を実感できるよう支援したいと考え
ました。また、特別支援教育にも興味を持ち、
一人ひとりの実態に応じた支援を行うことが
できる特別支援学校の教員を志願しました。



「できた」「分かった」の瞬間

教員になってよかったことは、子どもたちの
成長を見守り、地域の良さや魅力に触れる
ことができる点です。学習中に子どもたちの
「できた」「分かった」という瞬間や、行事や
部活動に真剣に取り組む姿を見ると、教員
としてのやりがいを感じます。また、地域の人
と一緒に活動したり、地域のイベントに参加
したりすることで、その地域の魅力を知ること
ができました。これからも、学習や行事等
を通して、生徒と共に地域とのつながりを大切
にしていきたいと考えています。



INTERVIEW
05

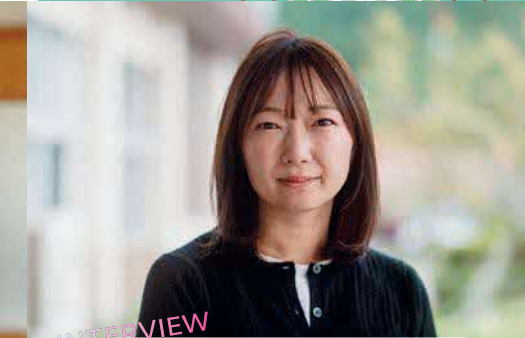
海士町立海士中学校
養護教諭 藤田 みこと先生

素直で温かい

しまねの教員になってよかったことの一つは、
地元であるため、環境の変化が大きい1年目
でも土地や人に親しみがあり、安心して日々
の仕事に取り組めることです。また、私の勤務
する学校は小規模であるため、一人ひとりの
子どもにしっかり目を向けられ、細やかに
変化や成長に気づける点も大きな魅力です。
赴任したばかりの頃は、不慣れなこともあり
ましたが、生徒たちは素直で温かく、少しずつ
心を開いてくれるようになりました。救急
処置の際や何気ない会話で日々の出来事
を話してくれる瞬間には、特に嬉しさを感じ
ます。また、保健室に来ていた生徒が元気に
過ごしている姿を見ると、少しでも力になれ
たのだと感じ、養護教諭としてのやりがいを
実感します。生徒のちょっとした変化に気づ
いて関わり、心を開いてくれる瞬間に立ち
会えることが、養護教諭の魅力の一つだと
感じています。

安心できる場所

保健室は、いつでも誰でも利用でき、困った
ときに安心してSOSを出せる場所であり
たいと考えています。そのために、日常の
ちょっとした会話を大切にしながら、生徒と
の信頼関係を築くよう努めています。保健室
に来たときだけでなく、自分から積極的に
生徒に関わることで、生徒の普段の様子や
小さな変化に気づくよう意識しています。
生徒が「ここなら安心できる」「この先生に
なら話をしてもいいかも」「いるだけで安心
する」と思える養護教諭を目指しています。
そのために、正しい知識と判断力を身に
つけ、より良い対応ができるよう日々学び
続けています。



INTERVIEW
06

津和野町立津和野中学校
栄養教諭 佐々木 翔子先生

健やかな成長を願い

食の大切さを伝え、子どもたちの成長を支え
たい—もともと管理栄養士を目指して大学に
進学しました。大学の授業では、病気の方と
接する機会が多く、その中で「もっと早く食事
に気をつけていれば…」という声を何度も
聞きました。こうした経験から、食事の大切さを
子どものうちから伝えたいという思いが強くな
り、教員を志すきっかけとなりました。また、
1型糖尿病の子どもたちのボランティア活動
に参加したことも、私の原点の一つです。病気
と向き合いながらも、自立に向かって前向き
に歩む子どもたちの姿に触れ、私も成長を
支える存在になりたいと強く感じました。島根
で教員になろうと思ったのは、私自身が子ども
の頃から学校の先生や地域の方々に温かく
支えられて育ったからです。大学で県外に
出た際、改めて島根の人の優しさを実感し、
「島根で栄養教諭として子どもたちの健やかな
成長を支えたい」と強く思うようになりました。

笑顔と地域が支える食育

子どもたちが「先生、今日もおいしかったよ!」
と満面の笑みで伝えてくれる瞬間は、敵立を
考えてよかったと心から嬉しく思います。また、
食に関する指導の後に、「授業で教えてもらった
こと、やってみたよ!」と言ってもらえたときは、
子どもたちの成長に直接関わる喜びを強く
感じます。島根県の教育環境の魅力の一つは、
地域の生産者の方々など豊かな人的資源が
あることだと思います。こうした方々の協力を
得ながら、地域全体で子どもたちの学びを
支えていけることに大きなやりがいを感じて
います。地域と学校が密に連携し、子どもた
ちの成長を見守る環境が整っていることも、島根
で教員になる大きな魅力です。

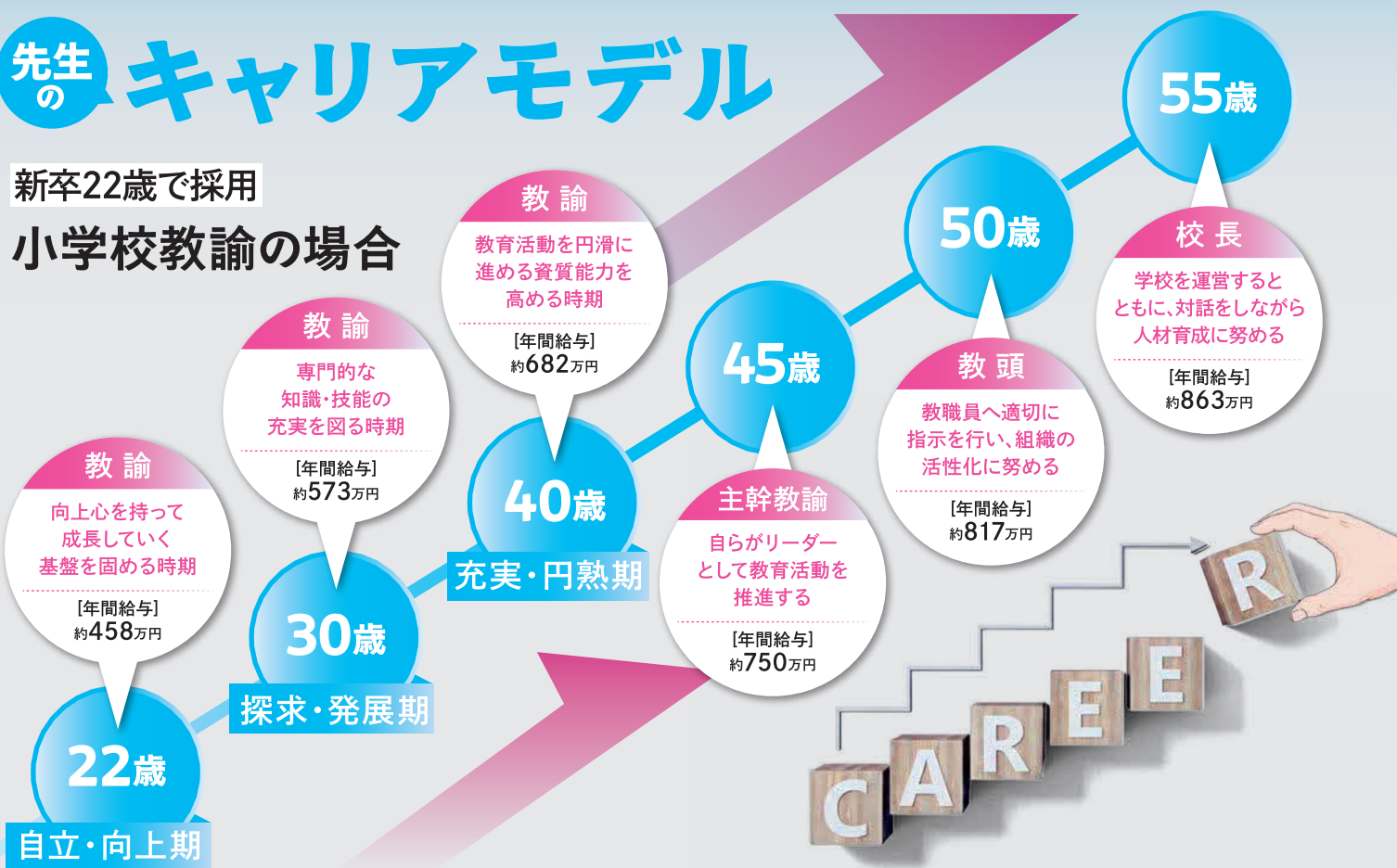


5

先生のキャリアモデル

新卒22歳で採用

小学校教諭の場合



先生になろうとする“あなた”へ ～ベテラン先生からの言葉～

広がっていく世界

小学校教員の魅力は、子どもたちの成長に日々出会うことです。授業中の思いがけない言葉や、こちらの想像を超える発想に触れるたび、教員になって良かったと感じます。これは、教員として授業をしなければわからないことです。ただ、最初は授業もうまいかないことが多く、“予想外”の出来事を楽しむ余裕はありませんでしたが、その“予想外”を楽しめるようになると、子どもたちの学びも、自分の世界も大きく広がり、この仕事の発展性を強く感じられます。

そして、教員という仕事は、経験すればするほど面白さが増していく仕事です。小さな変化に気づき、寄り添い、時には一緒に笑い、驚き、悩む。子どもたちと共に成長できる、この尊い仕事を、自分らしく楽しんでください。もし、少しでも「子どもたちと関わる仕事っていいな」と感じているのなら、そっと教室の扉をのぞいてみませんか？あなたの思いが、きっと誰かの力になります。

可能性を引き出し支える

高校教員の魅力は、生徒の進路に深く関わり、その未来と一緒に考えられることです。進路指導では、教員の声掛けや関わり方、示す選択肢ひとつで、生徒の将来が変わることがあります。その分責任の重さを感じますが、それがまさに“やりがい”につながっています。

高校生は、「先生」への信頼があるからこそ本音を語ってくれます。教員は、その生徒の本音を聞き、適性を見極め、幸せになってほしいという思いで一人ひとりに寄り添います。高校は、学力を伸ばす場所でもあり、可能性や視野を広げる場所でもあります。

また、部活動での関わりも高校教員の魅力のひとつです。教室では見せない表情や努力が見られ、より深い生徒理解やより良い進路指導につながります。

生徒の将来と真剣に向き合い、その可能性を引き出す。高校教員という仕事には、その尊さとやりがいが詰まっています。

待遇・福利厚生

給与 (令和8年4月1日現在)

教諭・養護教諭・栄養教諭

大学卒 **276,289円**

(教職調整額・教員特別手当を含む)

※上記の金額は、大学を卒業し、すぐ採用された場合の基準です。
なお、採用までに職歴等がある場合は、経験に応じて変動します。

勤務時間

1日あたり **7時間45分**
(週あたり38時間45分)

休日

土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12月29日～1月3日)

主な手当

期末・勤勉手当

(民間企業の賞与に相当)

通勤手当、住居手当、扶養手当、
単身赴任手当、産業教育手当 など

休暇制度

年次有給休暇 **20日**

夏季休暇 **4日**(6月～10月)

産前産後休暇、育児休業 など

働き方改革

保護者や地域の皆さまのご協力に加え、以下のような取組により、教職員の働き方改革を一層進めていきます。

- ・生活時程や学校行事、授業時数等の見直し
- ・デジタル化による業務改善
- ・部活動指導員等の外部サポート人材配置 など

令和8年
1月から

教員の処遇が改善されました

教職調整額の引上げ

令和8年1月から教職調整額が給料月額5%になりました。毎年1%ずつ引上げ、令和13年1月に10%に！

義務教育等教員特別手当の見直し

学級担任加算として、毎月3,000円(複数担任制では、1,500円)を支給

高校の通級指導担当教員にも給料の調整額を支給 など

島根県の地域

島根県は、出雲地域・石見地域・隠岐地域の3つの地域があります。
本県教育の振興を図るため、県内全域での勤務を推奨しています。

島根県の公立学校数

	出雲地区	石見地区	隠岐地区	総数
小学校	104	72	11	187
中学校	45	38	7	90
高等学校	20	13	3	36
特別支援学校	6	5	1	12

※小学校には義務教育学校(前期課程)を含む

※中学校には義務教育学校(後期課程)を含む

※高等学校には、松江市立皆美が丘女子高等学校を含む

